

## みえ福祉第三者評価結果

### ① 第三者評価機関名

株式会社百五総合研究所
-------------

### ② 施設・事業所情報

名称：わかすぎ第二保育園	種別：保育所
代表者氏名：園長 鈴木佐千代	定員（利用人数）： 160名
所在地： 松阪市立野町 518	
TEL：0598-26-5188	ホームページ：http://seisukai-wakasugi.or.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成 23 年 4 月 1 日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人清翠会	
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員 14名
専門職員	保育士 22名
施設・設備	（居室数）8室 （設備等）
の概要	授乳室・ほふく室4室、 保育室3室、遊戯室1室 調理室、園庭、事務室

### ③ 理念・基本方針

#### <保育理念>

児童福祉法に基づき、すべての子どもにとってふさわしい生活の場を保障し、保育者として専門性を発揮するとともに、人間形成の根っこの拠点となるよう努める。子どもたちは、ひとりひとりが授かった「たいせつな宝」 優しく我が子を見つめる母親の姿を保育の原点とし、お母さんと同じ心で子どもたちを見守り、思いきり「ぬくもり」や「やさしさ」を与え育てる。

#### <保育方針>

保育に関わる専門職同士が協力したり、専門性を発揮し、共通理解を図りながら、子どもの発達過程に応じた育ちを築いていけるよう、保育の内容の質を高め、充実させる。いつも子どもたちに、優しいことばを・楽しい思い出を・健康な日々を基本とし、子どもの24時間の生活を視野に入れ、家庭との連携を密に図る。

#### ④ 施設・事業所の特徴的な取組

##### <園の特色>

三重県の木材を多くあしらった木の香りがあふれる園舎は、保育室が南面を向いていることから採光にも恵まれた造りとなっています。

##### <特徴的な取り組み>

(乳児保育の担当制)

乳児期は信頼の基盤を作る大切な時期と考え、子ども一人ひとりの状況に合わせて援助していけるように、育児担当制を取り入れています。

(異年齢保育)

年長の子を尊敬する気持ちや年下の子への思いやりの気持ちを育てるため、3・4・5歳児の合同保育を行っています。

(布おむつの使用)

人間の感覚器官を育てるために重要な「快・不快」を感じやすい布おむつを使用しています。

(保育者の服装)

母親に近い服装（ジャージを使用しない）を着用し、食事時はエプロンを着用して保育を行っています。

#### ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年12月27日（契約日）～ 令和4年3月18日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	2回（平成23年度）

#### ⑤ 総評

##### <特に評価の高い点>

・保護者に事業や行事計画を説明する目的で、写真なども交えた分かりやすい文書を作成したり、保護者へのメール配信、掲示板を活用するなどの周知に取り組んでいます。

・「ヒヤリハット」「事故報告書」では、発生要因、今後想定される事故、改善策、保護者の受止め状況など、非常に詳しい状況分析と検討内容が記録されています。

・保育の作業手順が見てすぐに分かるように、場面ごとに写真を多く取り入れたマニュアルが整備されています。

##### <改善を求められる点>

・中・長期的な事業計画および収支計画は策定されていますが、定期的な見直しが不十分です。計画修正や推進方針の変更など、定期的に見直しをする必要があります。

・職員一人ひとりの目標設定は特にありませんが、年2回の自己評価で振り返りを行っており、園長面談時を利用して業務目標を取り決めるなどの仕組みづくりを期待します。

・職員の子ども、保護者に対するプライバシー保護意識は、職員アンケート結果から非常に高いことが伺われますが、保育場面に応じたマニュアル等の整備が望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価の受審は、今回で2回目となりますが、さまざまな視点から職員と話し合い、保育を再度見直す良い機会となりました。評価結果を真摯に受けとめ、問題点をひとつひとつ、職員と話し合いながら改善していきたいと思ひます。

保護者からの声、職員からの声をしっかりと受けとめ、今後も地域や保護者の方から信頼される保育園、職員にとって働きがいのある保育園を目指していきたいと思ひます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。